



地域支援センターだより

地域支援センターやわた

第1回目の「スキルアップ研修会」を実施しました。

一般社団法人日本ビジョントレーニング普及協会理事の横田幹雄氏をお迎えし、「子どもの心と体の発達を促し、学習や運動の土台の力を育てるビジョントレーニング」という演題で御講演と体験（演習）をしていただきました。

今年度は、各校2名程度の会場参加形態にて7月26日（水）に実施しました。保・幼・こども園、小、中、高等学校、その他関係機関の職員の方々と、本校教職員合わせて102名に御参加いただきました。



研修会では、ビジョントレーニングとはどんなツールなのか、見る力と発達の関係、ビジョントレーニングで育む力や運動・感覚統合との関連などの基礎理論を御講義いただいた後、実際に体験していただく研修会でした。体験（演習）では、先生方同士で、活発な意見交流等も見られ、なごやかな雰囲気学びを深め、2学期からの実践に生かしていただける内容となりました。

ご参加いただいた方からの感想（一部抜粋）

- 「目」に注目する大切さを知ることができました。また、感覚は積木を積むように発達する図という説明がとても勉強になりました。今回学んだことを生かし、幼児理解を深めたい。（保育園・幼稚園・こども園）
- 子どもの目の動きを知ると理解力や判断力につながるということがよくわかりました。見る力を育むことで子どもたちの「できる」を増やしていけるということを知りました。（保育園・幼稚園・こども園）
- 「見立てる」、「見抜く」、「見極める」の3つの力は指導者にとって土台となる専門性だと感じた。見る力を育てるトレーニングは、楽しく短時間で取組めるものばかりだったので、モジュールタイムなどで実践したいと思います。（小学校）
- 楽しさを大人でも感じられたので、気軽な物として取り入れられると、子ども達がこれまでつけられなかった力をつけてあげられるのではないかと思います。（小学校）
- どんなに良いことでも、知識だけで終わらせるのではなく、生徒に少しでも還元して、生徒が困り感を訴えた時には一緒に解消する手立てをつくっていききたいと強く思いました。（高等学校）
- こちらが提示するものが子どもたちにどう見えているのか、具体的に見直す良い機会になりました。「見る」ということが人の得る情報の80%を占めている。そうすると必然的にビジョントレーニングはすべての子どもたちに必要な事だと感じました。（八幡支援学校）
- 実際に体験してみると、身近に感じることができ、わかりやすかったです。（関係機関・その他）

次回第2回スキルアップ研修会は、和歌山大学 教育学部 教授 米澤好史氏をお招きして「愛着障害の理解（仮）」というタイトルで御講演いただく予定です。第2回は、オンラインでの開催を予定しております。奮って御参加ください。